



JTUC

日本労働組合総連合会
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.421 2026.7.9

れんごう

YAMANASHI

安心社会へ 果敢にアクション! ~広げよう「理解・共感・参加」の輪~

6

4
THU

連合山梨 2026次世代共創フォーラム

次世代を担う人材の育成と組織の活性化につなげる



6月4日(木)、YCC県民文化ホールにおいて、組織対策委員会主催による「連合山梨2026次世代共創フォーラム」が開催され、各構成組織から200名が参加しました。本年度から従来の「教育フォーラム」を発展的に改称し、変化する社会情勢に対応しながら知見を広げ、次世代へとつないでいく場として「次世代共創フォーラム」として新たなスタートを切りました。

記念すべき第1回の講師には、2023年のWBCで侍ジャパンのヘッドコーチを務め、世界一へ導いた白井一幸さんをお迎えしました。「仲間とともに未来を創る ~組織のためのチームビルディング~」と題した講演では、組織に必要な考え方や、組織を継

続・発展させていくためのポイントについて、WBCでの選手たちとのエピソードを交えながら、楽しく分かりやすくお話しいただきました。

講演では、具体的な数値や達成事項など成果として見えるものを「目標」、組織や個人が目指す理想の姿を「目的」と整理し、チーム全体で「目的」を共有することの重要性が語られました。一人ひとりが目的に向かって主体的に行動することで、組織としての結束力が高まり、より強固なチームづくりにつながるのと力強いメッセージが参加者の心に響きました。また、WBC期間中のベンチ裏での選手とのやり取りや、試合結果と選手たちの心情の変化がどのようにつながっていったのかについても紹介され、世界一へと至る過程を臨場感たっぷりに学ぶことができました。参加者にとって、大変有意義で充実した時間となりました。

連合山梨では今後も、社会や労働環境の変化に対応するさまざまなテーマを取り上げながら、「次世代共創フォーラム」を継続して開催し、次世代を担う人材の育成と組織の活性化につなげていきます。

組織対策委員会 委員長 原 和之

白井一幸さんのプロフィール

1983年に日本ハムファイターズにドラフト1位で入団し、プロ野球選手として13年活躍。選手引退後に、1997年より日本ハムファイターズの球団職員となり、ニューヨーク・ヤンキースでのコーチ研修を経て、2000年に2軍総合コーチに就任。以後、2軍監督やヘッドコーチなどを歴任する中で、従来型の選手指導方法を一新。コーチングを取り入れた選手指導で数々の優秀な若手選手を輩出し、リーグ優勝3回、日本一2回、さらには2023年のWBCの優勝にも貢献。2008年より講演やセミナーなどの講師活動を開始し、現在は研修講師としても活躍している。圧倒的な実績に基づく実践的な理論に裏打ちされた説得力のある研修は、「分かりやすく実践的」と多くの企業から高い評価を得ている。

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目7-17 労農福祉センター内
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>
E-mail: info@yamanashi.jtuc-rengo.jp

発行人 宮下 竜三



RENGO_YAMANASHI



Facebook



Homepage

連合山梨 2026 春季生活闘争**闘争情報****第6回集計** (6月26日現在)
(7月 9日公表)

平均賃上げ集計 (加重平均)	規模計	2026年回答妥結			2025年回答妥結		
		組合数	金額	率	組合数	金額	率
		53	14,605	4.58	49	15,070	4.90

「規模計」平均賃上げ要求組合全体 2025年は昨年同時期の回答妥結状況

**格差是正
均等待遇**

交渉進捗状況	全 体 18構成組織 98組合					地 場 9構成組織 28組合				
	要求	妥結	交渉中	要求せず	未定	要求	妥結	交渉中	要求せず	未定
	83	79	4	3	-	24	23	1	3	-

6
16
TUE**ジェンダー平等推進研修会**

6月16日(火)の夕刻に労農福祉センターにおいて、ジェンダー平等推進研修会を開催し、産別の枠を超え30名が参加しました。講師には杉山文野氏をお招きし「はじめてのLGBTQ～性の多様性と人権～」というタイトルの講話を拝聴しました。今現在トランスジェンダーとして活動されているご自身の背景や、幼少期から学生時代まで抱いていた葛藤や苦悩を面白おかしく話していただくことで、LGBTQへの理解を深めることができました。私もLGBTQという言葉は知っていましたが、自分とは縁遠い存在だと思っていました。また、受入れることに少し抵抗を感じていたのも事実でしたが、杉山氏の講話を聞いて「身近な存在」であることを認識すると同時に、「何か自分にできることはないだろうか」という気持ちになっていました。少しでも力になれる存在でありたいと感じることができた講演でした。

日本のジェンダー・ギャップ指数は148カ国中118位という結果で、特に政治と経済への参画が低いといわれています。そのような状況下ですが、連合は「ジェンダー平等推進計画」のもと2030年までに女性の参画率の向上を目指して運動を進めています。数値目標もさることながら、誰にとっても働きやすい環境を作り、多様性が尊重される社会で「誰一人取り残されることのない社会」の実現に向け運動を進めて参りますので、多くの皆様のご理解とご協力をお願いし研修会の報告とします。

ジェンダー平等推進委員長 櫻井 澄人

やまなし労福協**6**
23
TUE**第63回通常総会を開催**

山梨県労働者福祉協会は6月23日(火)、山梨県労農福祉センターにおいて第63回通常総会を開催しました。

総会では、議長に原理事(連合山梨)を選出した後、主催者を代表して杉原会長(連合山梨)が挨拶しました。続いて、ご来賓の杉田山梨県総合県民支援局次長、樋口甲府市長、櫻井連合山梨副会長からそれぞれ祝辞をいただき、届いた祝電が披露されました。

議事では、以下の第1号議案から第7号議案までのすべての議案が審議され、満場一致で承認されました。これにより、福祉団体として共に労働者福祉活動を展開していくための、さらなる意思疎通と団結が図られました。

**<議 事> ●第1号議案 2025年度活動報告**

●第2号議案 2025年度会計報告・監査報告

●第3号議案 剰余金処分(案) ●第4号議案 2026年度活動方針(案) ●第5号議案 2026年度予算(案)

●第6号議案 役員変更(案) ●第7号議案 定款の改定(案)

総会の最後には、「すべての働く人の幸せと豊かさを目指して、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!」のスローガンが採択され、参加者一同、今後の活動への決意を新たにしました。

6

17
WED**組織対策委員会 2026職場見学会 山日YBS本社を訪問**

6月17日(水)、地域で働く仲間の職場を見学し、見識を深めるとともに相互理解を図ることを目的に、山日YBS本社のご協力をいただき職場見学会を開催しました。

当日は組織対策委員を中心に15名が参加し、山梨放送労働組合の樋真孝執行委員長にもご協力いただきながら、山日YBSグループの歴史やスタジオ、制作現場の様子などを見学しました。

山梨日日新聞は、1872年(明治5年)に「峡中(こうちゅう)新聞」の名称で創刊された、日本最初の地方新聞です。情報を届ける手段が新聞からラジオ、テレビ、インターネットへと多様化する中、山日YBSグループは地域に根ざした報道と幅広い事業活動を通して、正確で信頼できる情報を発信し続けています。見学の冒頭では、その歩みを紹介する映像を視聴し、山梨の発展とともに成長してきたグループの歴史を学ぶことができました。

本社見学では、報道フロアの慌ただしい業務の様子や緊張感あふれるニューススタジオ、山梨日日新聞社編集局での紙面制作の現場、さらにはラジオスタジオでの生放送の様子などを見学しました。情報を正確かつ迅速に伝えるた

めに働く皆さんの真剣な姿から、報道に携わる方々の使命感や責任の重さを感じることができました。

また、山梨放送労働組合の皆さんとの意見交換では、部署ごとに異なる働き方への対応や人材育成の課題、広報誌の活用方法などについて交流を深めました。特に災害発生時の対応についてのお話からは、県民の命と暮らしを支える情報を発信する職場としての誇りと責任感が強く伝わってきました。

今回の見学会は、地域で働く仲間の仕事や労働組合活動について理解を深める大変貴重な機会となりました。ご協力いただいた山日YBSグループおよび山梨放送労働組合の皆様に、心より感謝申し上げます。

組織対策委員会 委員長 原 和之



6

8
MON**FM FUJI ラジオ番組出演****ジェンダー平等について考える**

6月8日(月)に連合山梨ジェンダー推進委員の川口直美さん(日教組)と山下智也さん(全労金)のお二人がFM FUJI ラジオ番組「Bumpy」に出演しました。

この取り組みは、連合が毎年6月を男女平等月間として位置づけ、女性活躍推進の気運を高める活動を推進することに伴い実施しています。

ラジオ番組では、連合山梨の紹介と労働組合の役割、日本のジェンダー平等推進の実態を紹介するとともに、6月の男女平等月間の取り組みである6月9日(火)10日(水)に実施する女性を

主な対象とした「連合全国一斉集中労働相談ホットライン」をご案内しました。

日本のジェンダー平等推進の実態は、男女格差を数値化したジェンダーギャップ指数では、2025年度148カ国中118位であり、主要7カ国(G7)では残念ながら最下位となっています。

指数を構成する「経済」「教育」「健康」「政治」の4つの分野のうち、「教育」「健康」の分野では世界トップレベルにありますが、「経済」「政治」の分野では格差が依然として大きい状況にあります。

連合山梨は、今を生きる女性やこれから生まれてくる次世代の子どもたちにとって、より平等な社会をつくるため、これからも「意識を変える」「構造や仕組みを変える」ために、積極的に活動してまいります。

副事務局長 小川 直人



6
2~5
TUE FRI

仕事で悩むあなたを応援(サポート)します 連合全国一斉集中 労働相談ホットライン

6月2日(火)・5日(金)の2日間、『～仕事で悩むあなたを応援(サポート)します～連合全国一斉集中労働相談ホットライン』の周知を目的に、中部、東部、西部の各地協による街頭宣伝行動を行いました。

6月5日(金)夕方には、甲府駅南口において、道行く方々へ男女平等、ジェンダー平等推進、長時



間労働是正・仲間づくりの実現に向けた、連合山梨の考えを訴えました。また、各日夕刻には、県内のスーパーにおいて、チラシ入りのティッシュ約3,000個の配布を行い、「男女間賃金格差の解消」や「パワハラ・セクハラ撲滅」の推進を呼びかけました。

6
10
WED

金属部門連絡会 役員研修会

三井金属株式会社銅箔事業部を訪問



連合山梨金属部門連絡会は6月10日(水)に役員研修会を開催し、電機連合、JAM、自動車総連、基幹労連の役員を中心に17名が参加のもと、三井金属株式会社銅箔事業部を見学させて頂きました。

同事業部はスマホやEV、AIなど最先端テクノロジーを支える世界トップシェアの材料メーカーです。冒頭、今村上尾事業所長と菊地労組執行委員長より歓迎挨拶をいただき、概要を拝聴しました。同社の電解銅箔が100%リサイクル原料から作られるサステナブルな製造現場に感銘を受けました。

工場見学では3班に分かれ、製造工程を巡りました。巨大ドラムと電気力で髪の毛より遥かに薄い銅の膜を吸着して巻き取る

高度な「電解技術」の現場を体感したほか、厚さ1.5～5マイクロメートルで世界シェア95%以上を誇る極薄銅箔「MicroThin」の技術に圧倒され、日本のものづくりの凄みを肌で感じました。

見学後は同社労働組合の皆様との意見交換会を開催。部署ごとの課題や今後のビジョンについて率直に語り合い、組織の垣根を越えて相互理解を深める大変有意義な時間となりました。

世界一のシェアを支える現場の熱量と働く仲間の誇りに触れ、本当に良い勉強の機会となりました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

金属部門連絡会 議長 櫻井 澄人

